

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木 求名			
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な活動を通して、こどもの成長を幅広く支援できていること。	活動を通して、コミュニケーション力・社会性・生活スキルなど、幅広い力を育む支援ができている。	活動内容を定期的に見直し、こどもが楽しみながら成長できる環境づくりに努める。
2	放課後等デイサービス計画に基づいた一貫した支援が行われていること。	計画を示しながら保護者へ丁寧に説明し、本人支援・家族支援・移行支援の観点を踏まえた支援内容を設定している。	こどもの成長や変化に応じて計画を見直し、実際の支援に反映する体制を整える。
3	こどもの自己肯定感を育む関わりができていること。	小さな成功体験を積み重ねられるよう、活動や声かけを工夫している。	こどものペースを尊重し、無理なく挑戦できる環境を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画に基づく支援の振り返りが十分に体系化されていないこと。	放課後等デイサービス計画に沿って支援を行っているものの、計画の達成状況や支援の効果を定期的に振り返る仕組みが十分に整っていない。	振り返りの頻度や方法を明確にし、計画の改善につなげる体制づくりが課題。
2	職員間の情報共有にばらつきがあること。	こどもの様子や支援のポイントが口頭中心になり、職員によって把握に差が生じる場合がある。	記録の統一やミーティングの活用など、情報共有の仕組みをより整える必要がある。
3	地域交流や外部との連携が十分に確保できていないこと。	放課後児童クラブや児童館、地域のこどもとの交流機会が限られており、社会参加の場が広がりにくい状況がある。	こどもの特性に配慮しながら、無理のない範囲で交流機会を増やす取り組みが求められる。